

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.69 ブックスタート事業			担当課	子育て支援課			予算費目名	款 3	項 2	目 1
事業概要 及び目的	各ヘルスステーション主催の「4か月児健康相談」の会場で、民生児童委員、主任児童委員の協力により、絵本「いないいないばあ」とコットンバッグを贈呈する。乳幼児期から言葉と心を育むために、絵本との出会いの機会を設け、読み聞かせなどで親子のコミュニケーションを深めることで、親子のふれあいを支援していく。また、読書の面白さ、大切さを伝え、心を豊かにしていく。			成果 目標	成果指標	年間出生数	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
					計画値	1,500 ヶト	予算額 (単位: 円)	1,500,000	1,433,000	1,417,000	1,499,000
							決算額 (単位: 円)	1,134,193	1,432,500	1,409,010	
							従事職員数	2	3	3	
事業の 位置づけ	章 1	豊かな人間性と暖かさを育むまち		★左記施策(号)との結び付き 絵本の読み聞かせなどを介して、親子の心ふれあう時間をつくり、親子との絆を育む支援を行う事業であり、「子育て・子育て支援施策の充実」に貢献している。	従事延べ日数	104	156	156			
	節 2	保健・医療・福祉環境の整備			民間活力の導入	現状は? : <input checked="" type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input type="checkbox"/> 余地なし					
	項 3	高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉などの充実				相手は? : <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等					
	号 3	子育て・子育て支援施策の充実				形態は? : 事業協力					

2. 進捗状況

				平成 21 年 7 月 13 日記入					平成 22 年 5 月 18 日記入					平成 23 年 4 月 22 日記入	
年度	21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価)						
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	
完了した事項	・H20 年 4 月以降出生の子どもを対象としたため、8 月の「4か月児健康相談」から事業開始。				・4 か月児健康相談の会場で、相談終了後、民生児童委員から絵本「いないいないばあ」とコットンバッグを贈呈。				・平成 22 年 8 月より絵本「いないいないばあ」を既に持っている方に対し、他の絵本(「がたんごとん」「くだもの」)を選択できるようにし、贈呈。						
継続している 事項	・				・				・						
未着手事項	・				・				・						
改善案					成果指標				成果指標						
					実績値 878 ヶト	達成率 58.5%			実績値 1,367 ヶト	達成率 91.1%			実績値 1,283 ヶト	達成率 85.5%	

3. 今後の方向性

				※課内協議を経て管理職が記入してください。平成 21 年 7 月 24 日協議実施					平成 22 年 6 月 9 日協議実施					平成 23 年 4 月 22 日協議実施
今後の方向性	成果の方向性	拡充		○	成果の方向性	拡充		○	成果の方向性	拡充		○		
		現状維持				現状維持				現状維持				
		縮小				縮小				縮小				
		休廃止				休廃止				休廃止				
	休廃止 縮小 現状維持 拡充				休廃止 縮小 現状維持 拡充				休廃止 縮小 現状維持 拡充					
	コストの方向性				コストの方向性				コストの方向性					
	★上記を選択した根拠 出生数に大きな変動はないため、コストに変動はない。				★上記を選択した根拠 出生数に大きな変動はないため、コストに変動はない。				★上記を選択した根拠 出生数に大きな変動はないため、コストに変動はない。					
方向性を実現するため実施すること (改革案)	平成 20 年 8 月開始のため、もう少し事業の実施状況を見守りたい。そのため、具体的な改革案には至らないが、第 2 子以降への配慮として絵本の種類を増やす、贈呈の方法などについて検討していく。				平成 22 年 8 月より、第 2 子以降すでに絵本「いないいないばあ」をもっている方を対象に、絵本の種類を増やし、一部に選択制を取り入れる。				平成 22 年 12 月に新たに民生委員・児童委員になった方を対象に説明会等を実施する。更にこどもセンターやきらっ子ルームでの読み聞かせの時間を通じて、親子のふれあいを支援し、ボランティアの協力も検討する。					
前年度改革案の実施状況	□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 平成 20 年度開始の事業のため、前年度の改革案はない。				□実施 ■一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 第 2 子以降を対象とした絵本の選択制について検討し、平成 22 年度予算に計上。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 第 2 子以降を対象とした絵本の選択として、これまで配布していた「いないいないばあ」の他に「がたんごとん」「くだもの」から新たに選択できるようにした。					